IAJapan（アイ・エイ・ジャパン）は国際基準に基づく試験所認定サービスを提供しています

IAJapanは国際試験所認定協力機構(ILAC)及びアジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)の相互承認(MRA)に加盟しております(注)。

IAJapanの認定シンボルを付けた試験成績書や校正証明書はILAC、APLAC/MRAを通じて世界各国で受入れ可能です。

IAJapanはJCSSをはじめとするグローバルな試験所認定サービスをトータルに提供しています。

MRA対応認定事業者認定シンボル
認定シンボルは、認定事業者が認定されていることを示すステータスとして認定機関により使用を認められているシンボルです。

- **JNLA（工業標準化法試験事業者登録制度）**（ジェイ・エヌ・エル・エー）
- **JCSS（計量法校正事業者登録制度）**（ジェイ・シー・エス・エス）
- **ASNITE（製品評価技術基盤機構認定制度）**（アズ・ナイト）
- **MLAP（計量法特定計量証明事業者認定制度）**（エム・ラップ）

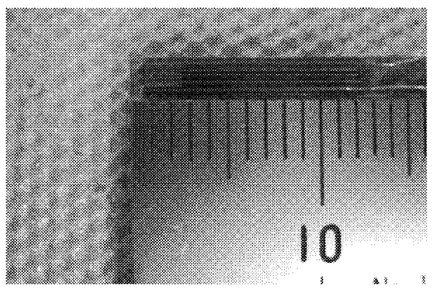
（注）IAJapanの認定プログラムのうちMLAPは、ILAC、APLACの相互承認の対象外です。

独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター（IAJapan）
〒151-0066　東京都渋谷区西原2−49−10
TEL(03)3481-1946　FAX(03)3481-1937
http://www.iajapan.nite.go.jp/iajapan

NETSUSHIN

"世界最小級" 表面測定用白金測温抵抗体

NEW　フィルム型　高速・高精度温度計測の超極小Ptセンサーがデビュー!!



NFR-CF3−1502（感温部幅1.5㎜×長さ2.0㎜×厚さ0.3㎜）

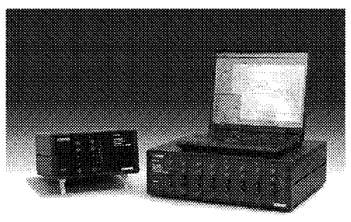
特徴
"巻線タイプ"で最小級のフィルム型Pt センサー
高精度でレスポンスが極めて速い!!

仕様

型式	NFR-CF3−1502
抵抗値	Pt100Ω　(at 0℃)
階級	JIS A級、B級
規定電流	0.5mA or 1mA
使用温度範囲	200℃
材質	カプトン

聞いたことありますか???　温度センサーのメーカーが作った温度計測器って…?!

『次世代温度計測器　NX-3100&1200』



"多点計測""高速度""高精度"の三大要素を"同時"に実現!!
今まで…見えなかった?!
わからなかった?!
測れなかった?!
などの問題を即解決☆

主な仕様

	スペック	
温度レンジ	0〜50℃	-50〜160℃
計測スピード	0.5秒〜（同時計測）	
精度	±3mK	±5mK
チャンネル数	8ch（最大16ch）	
温度計	白金測温抵抗体（4導線式）	

詳しくは、弊社営業までお問い合わせください。

温度センサー、温度計測のことなら何なりとご相談ください。

Ptセンサーのトップメーカー
株式会社ネツシン
本社工場・標準室　〒354-0045　埼玉県入間郡三芳町上富2079-7
TEL：049-259-0101　FAX：049-258-2424
E-mail：eigyo@netsushin.co.jp　http://www.netsushin.co.jp
'06ものづくり中小企業300社　'06モノづくり部品大賞奨励賞受賞　'07優秀経営者顕彰地域社会貢献者賞受賞　'08埼玉産業人クラブ西海記念賞受賞　'10モノづくり部品大賞奨励賞受賞

JCSS　計量標準供給と校正サービス

執筆＝製品評価技術基盤機構（NITE）認定センター（IAJapan）

計量法校正事業者登録制度（JCSS）は、計量法の関連条項および国際規格ISO／IEC17025に基づき校正事業者を登録・認定することにより、産業界へ信頼性の高い「計量トレーサビリティ」の維持・提供を行うことを目的とした制度。JCSS校正事業者の登録・認定を行っているのは、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の認定センター（IAJapan）である。IAJapanはJCSSのみならず、日本国内の産業における計測・計量の信頼性の確保や向上を目指し、国際規格・指針に基づいて試験所・校正機関などを認定する中核機関として、重要な役割を担っている。

JCSSとは

JCSSは、1993年11月1日に施行された改正計量法のもとで創設され、今年で18年が経過している。国家計量標準にトレーサブルな標準器・計測器を用いて校正サービスをする校正事業者を、校正機関・試験所の能力に関する国際規格であるISO／IEC17025を審査基準として登録・認定する制度である。

今までに2回の法改正が実施され、企業や工場の参照標準レベルのみならず、作業現場で使用される計測器レベルまでの校正ニーズに対応した制度となっている。また2005年7月からは、4年ごとに登録を更新する制度に変更され、さらなる信頼性の確保・向上を図っている。

詳細については、IAJapanホームページで公表されているJCSSパンフレット、「JCSS登録の一般要求事項」などをはじめとする各種文書を見てほしい。

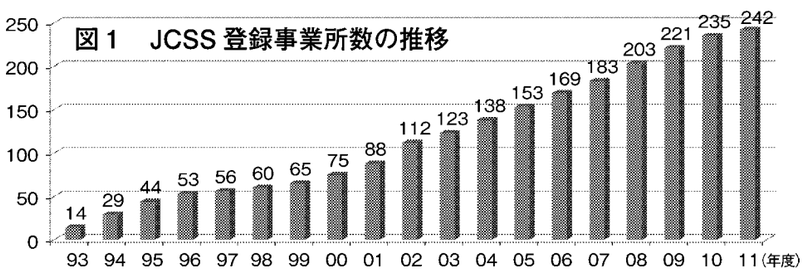
計量標準供給の現状とIAJapanの役割

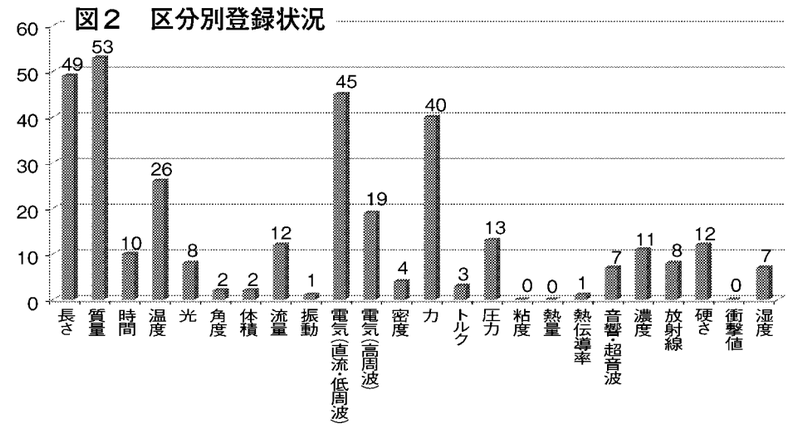
IAJapanは、各方面からの基準認証に関する基盤整備の要請に応え、JCSSのほか、計量法特定計量証明事業者認定制度（MLAP）、工業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）、製品評価技術基盤機構認定制度（ASNITE）などの各種登録・認定プログラムを運営している。

このほか化学分析などにおける計量計測トレーサビリティー情報提供の一環として、国内外の標準物質に関する情報を集約させた標準物質総合情報システム（RMinfo）も運営している。

JCSSは、計量法関係法令で規定する国家計量標準の供給体制が整備された計量器などの種類ごとに、試験所・校正機関の能力に関する国際規格ISO／IEC17025を審査基準として登録・認定される。

JCSS校正事業者の発行するJCSS標章付き校正証明書は、校正を受けた計量器または標準物質が日本の国家計量標準にトレーサビリティーがとれ、かつ確かな技術力に裏打ちされた信頼できる測定データであることを、簡潔かつ明確に証明できる。





◇JCSS登録区分別事業者検索システム　http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/lab/index.html　◇IAJapanホームページ　http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/

信頼と技術の JEMIC

企業ニーズに応えるネットワークと、永年にわたる研究を基盤とする実績。校正試験のことなら、JEMICにご相談ください。

JEMICは、電気・温度・光・時間（周波数）についてJCSS校正を行っています。

「JCSS」ロゴマーク付きの校正証明書はISO/TS 16949等の規格の要求に対応できます。

▶JEMICでは、LED光源の一般校正を行っています。
項目は、CIE平均化LED光度、LED全光束、LED色度で、白、赤、緑、青の4色です。
▶高調波測定も実施しています。
▶ISO/IEC 17025内部監査員研修や不確かさなどのセミナーも開催しています。

校正範囲拡張！
熱電対 0℃ ～ 1554℃
詳しくはHPをご覧ください。

標準器・計測器の校正試験については下記へお問い合わせください

日本電気計器検定所
本社　〒108-0023　東京都港区芝浦4-15-7　Tel.(03)3451-1181(代)
[校正試験窓口]Tel.(03)3451-6760　Fax.(03)3451-6910　http://www.jemic.go.jp/

中部支社　〒487-0014 春日井市気噴町3-5-7　Tel.(0568)53-6331(代)　[校正試験窓口]Tel.(0568)53-6336　Fax.(0568)53-6337
関西支社尼崎事業所　〒661-0974 尼崎市若王寺3-12-20　Tel.(06)6491-5031(代)　[校正試験窓口]Tel.(06)6491-5052　Fax.(06)6491-4348
九州支社　〒815-0032 福岡市南区塩原2-1-40　Tel.(092)541-3031(代)　[校正試験窓口]Tel.(092)541-3033　Fax.(092)541-3036